



エコアクション21
認証番号0012108

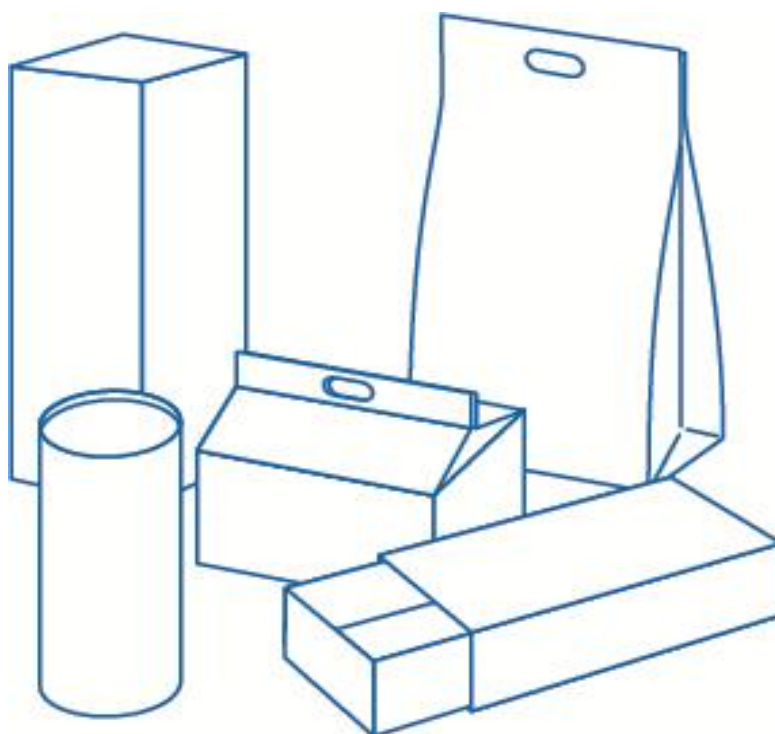


『オモイ』を『カタチ』に…

川田紙工株式会社

2023 年度 環境経営レポート

対象期間： 2023 年 4月 1日 ~ 2024 年 3月 31日



作成日： 2024年7月1日

SUSTAINABLE
DEVELOPMENT GOALS

目次

1.	経営理念／考働指針	3
2.	環境経営方針	4
3.	会社概要／事業内容	5
4.	技術紹介	6
5.	経営指針発表会／ミッション2025	8
6.	わが社の取り組み	9
	2022年度の挑戦と成果	9
	品質管理検定(QC検定)	9
	大阪府男女いきいき・元気宣言事業者 登録	10
	大阪市女性活躍リーディングカンパニー 認証	10
	展示会 出展	10
	インターンシップ ・ 中学生職業体験 受け入れ	11
	委員会活動	12
	全体会議	13
7.	環境経営組織図及び役割・責任・権限表	14
8.	主な環境負荷の実績	15
9.	環境経営目標及びその実績	15
10.	環境経営計画の取組結果とその評価	16
11.	環境関連法規制の遵守状況の確認及び評価の結果、 並びに違反、訴訟の有無	22
12.	外部からの環境上の苦情・要請等	22
13.	緊急事態対応の試行・訓練	22
14.	代表者による全体の評価と見直し・指示	23

経営理念

経営理念

私たちは、より良いもの創りを追求し、
安心と満足を提供し続ける企業を目指します。

私たちは、仕事を通じて、それぞれの夢を実現できる
働きがいのある企業を創ります。

私たちは、「つながり」を大切にし
豊かな社会を創造します。

考働指針

「常に関心、常に考える」

1. 心を添えているか？
その考働の一步先(お客様や仲間の笑顔)を想像しているか？
2. 誠実であるか？
その考働は一貫しており、お客様や社会から信頼されるものか？
3. 情熱を持っているか？
その考働の結果、心から「嬉しい！」や「悔しい！」と言える姿勢で取り組んでいるか？
4. 創意工夫があるか？
本質や課題を見つける目を養い、常に「より良い」を追求しているか？
5. 挑戦しているか？
率先してトライ&エラーを繰り返し、その経験から気づきと学びを得ることで成長できているか？
6. 感謝の気持ちを持っているか？
私たちを支えてくれるつながりに感謝し、ありがとうを発信できているか？
7. 主体者となれているか？
これら全てのことに對して自ら率先して考働しているか？

結果として そこに「365日笑顔！」があるか？

環境経営方針

川田紙工株式会社は、「つながりを大切にし、豊かな社会を創造する」という経営理念のもと、私たちの事業である紙製品の製造における環境への負荷を全社員が認識し、あらゆる企業活動において、環境保全に配慮することで、より豊かな社会を次世代へ繋ぐ活動に自主的・積極的に取り組んでいきます。



環境保全への行動指針

1. 環境負荷に配慮したものづくりに取り組みます。
 - (1) 電力および燃料の使用による二酸化炭素排出量の削減
 - (2) 資源の有効活用と廃棄物の削減
 - (3) 水使用量の削減
 - (4) 化学物質の適正管理
 - (5) 環境に配慮した物品調達の推進
2. 地域や関係団体の環境活動に積極的に参加します。
3. 自社ブランドの創造によって社会的ニーズに対応した企業づくりを推進します。
4. 関連する環境法規制およびその他の要求事項を遵守します。

この環境経営方針を全社員に周知徹底し、環境経営の継続的改善に努めます。

制定日： 2016年 10月 1日

改定日： 2021年 4月 1日

代表取締役社長

川田 昭彦



会社概要

社名 川田紙工株式会社

所在地 大阪市中央区鎗屋町2-2-15

TEL 06-6941-3438

FAX 06-6941-3498

創業 昭和23年(1948年)2月

設立 昭和32年(1957年)5月

資本金 1,000万円

代表取締役 川田 昭宏

事業内容 紙器製造及びオリジナル紙製品の
企画・販売
主要製品:化粧品のパッケージ、
POP、オリジナル紙製品

事業年度 4月1日 ~ 3月31日

事業規模	単位	2021	2022	2023
売上高	百万円	274	298	222
従業員数	名	23	23	20

認証・登録範囲 対象事業所:本社

活動内容: 紙器製造及び
自社企画紙製品の販売

環境管理責任者 吉村 心

事業内容

営業 / 企画部



川田紙工株式会社は、創業以来
パッケージを中心とした紙器の製造・加工を行っております。
多種多様な形のパッケージやオリジナル紙製品を
企画から製造まで一貫してご提案いたします。
「やってみます！」の精神で
どんなオーダーにも心を添えて、
私たちができる最高のモノづくりを提供してまいります。

製造部

トムソン



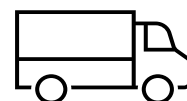
バラシ



サックマシン



納品



技術紹介



営業部

営業部では、お客様の『オモイ』をお聞きし、
素材の選定から、デザイン・設計・加工に至るまで
ご希望に合った最適なパッケージの提案を行っています。
お客様の多様なご要望に迅速にお応えできるよう
豊富な実績とサンプル集を用いて提案させていただきます。



～サンプルカット機 導入～



営業部では、初めての機械設備となるサンプルカット機を導入しました。
これまでパッケージのサンプルは、手で折り線を入れてカッターで切って
作成していましたが、サンプルカット機を使うことで今まで以上にはやく
細かなものが作れるようになったため、完成度の高い製品をお客様に提案
できるようになりました。

YouTube デビュー
川田紙工YouTubeチャンネル
開設しました！
チャンネル登録よろしくおねがいします！

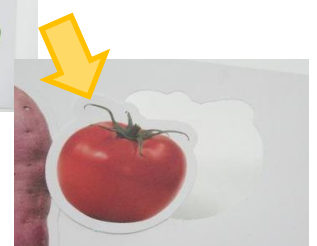
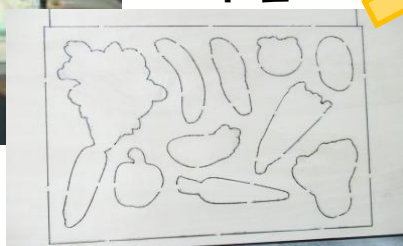


トムソン課

打ち抜き・トムソンと呼ばれる加工をしています。
パッケージ等の展開図の形に刃が埋め込まれた木型を使い
印刷物に型押しのように紙を一枚ずつ打ち抜いていく加工を
しています！また、パッケージ等を立体的な形状に組み立て
る際、きれいに折れ曲がるように折罫線などを入れる加工を
しています。



木 型



技術紹介



仕上げ課

トムソン加工で抜かれた印刷物を
商品である必要な部分と商品でない不要な部分を
分けるというバラシ作業を行っています。
何百枚単位でのバラシ作業は力が必要ですが
機械を導入し、女性でも簡単に作業できるようになりました！



サックマシン課

最終工程であるサックマシン課。
ここでは、商品1つひとつの形状にセットされた機械に
商品を1枚ずつ通し、折罫線で折り、糊付けを行い、
箱の形になるよう加工しています。
機械から出てきた商品に、不良がないかを
確認し、梱包を行い納品形態へと仕上げていきます。
2017年からカメラを導入し、品質向上を追求しています。



経営指針発表会



今期で15回目となる経営指針発表会。

今年もあべのハルカスの貸し会議室にて「第67期 経営指針発表会」を行いました。

会社の方針・価値観の共有を目的とし、1年間の振り返りと今期の目標を発表します。

経営理念から環境経営方針、各委員会の活動内容までぎっしりと詰まった経営指針書です。

司会進行や経営理念、考働指針、総括や方針の読み上げなどの発表を

社員が担当するので、全社員ドキドキ…ソワソワ…毎年緊張感がある経営指針発表会です。

今年は、2022年度のエコアクションの環境経営レポートが2つの賞

(なにわI会議 CO2削減コンペ 優良賞/環境経営エコフェス 大賞)を受賞することができたので

QC検定3級に合格した女性社員の表彰と併せて表彰式が行われました。



「5年後の理想像」から「ミッション2025」へ



全社員のオモイが詰まった「5年後の理想像」は「ミッション2025」へと変わり

“こうなりたいな…” “なったらいいな…” という、夢だったものを

川田紙工株式会社が2025年までに“達成すべき目標”とし、社員の意識の強化を図りました。

新たに、託児所の開設や女性社員の活躍などが加わり、多様な働き方の実現に取り組んでいきます。

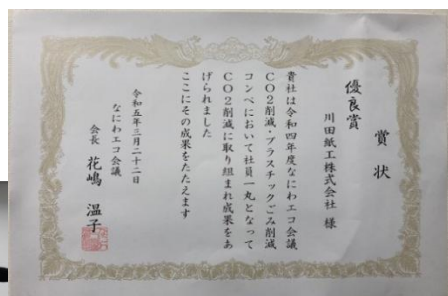
わが社の取り組み

2022年度の挑戦と成果



なにわエコ会議

大阪同友会
エコフェスティバル



2022年度の環境経営レポートが
なにわエコ会議 CO2削減コンペにおいて、「優良賞」
大阪同友会エコフェスティバルにおいて、「環境経営エコフェス大賞」を受賞することができました。

2016年からエコアクション21に取り組んでいますが、初めて賞を受賞することができ、大変うれしく思います。
今後も、現状に満足せず、エコアクション21・省エネ・環境経営に取り組んでいきます。

品質管理検定(QC検定)



3級合格者 4名

2024年3月時点

2018年から品質管理検定(QC検定)の資格取得に取り組んでいます。

弊社には、【資格取得推進】の制度があり、取得費用(受検料、交通費、テキスト購入費)は、すべて会社負担(制限回数あり)となり、合格級に応じて、報奨金も受け取ることができます。

わが社の取り組み

大阪府男女いきいき・元気宣言事業者 登録 大阪市女性活躍リーディングカンパニー 認証



2013年から毎年新卒採用を続けていることで、社員層は若返り、女性社員も増えました。企画/営業職・事務職だけでなく、製造職にも女性社員を配置しています。

また、委員会活動では、3つある委員会のうち、2つで女性社員が委員長として活躍しています。さらに、2020年には、初めてとなる産休育休制度を取得し、復帰後は短時間勤務制度を利用している女性社員が在籍しています。また、小学校就学前まで時短勤務を可能にし、働き続けることができる環境を整えています。

今後も、こういった社員1人ひとりの個性を大切に企業づくりを進めていくことで、全社員が働きがいを実感できる環境づくりに取り組んでいきます。

展示会 出展

毎年、展示会に出展し、川田紙工(株)を知ってもらう活動を行っています。
今年は、パッケージ展2023・販促物活用フェスタ2023・大阪勧業展の3つの展示会に出展しました。

昨年に引き続き、段ボールで作られた大きいガラポンを展示しました。ガラポンを回していただき、景品としてアレの入ったパッケージなどをお渡し、たくさんの方に喜んでいただくことができました。お一つから購入可能な紙製ガラポン！さまざまなイベントで活躍すること間違いなしです！アイキャッチアイテムとしてもぴったりですっ★



パッケージ展 2023



販促物活用フェスタ 2023



勧業展 2023

わが社の取り組み

インターンシップ受け入れ 中学生職業体験受け入れ



2018年からインターンシップと中学生職業体験の受け入れを行っています。
「仕事」「働く」ということが、どのようなものなのかを体験し知ってもらうことを目的としています。

製造業という私たちの仕事を知ってもらい、働くことの厳しさや楽しさ、やりがいなどを学んで今後に活かしてもらえたら…という気持ちで受け入れを行っています。

また、弊社では、若手社員が中心となり、受け入れを担当しています。分かりやすく伝えるにはどうしたらいいか…など、事前に準備し、当日は緊張しながらもしっかりと説明し社員も楽しみながら対応しています。



インターンシップ生には、営業部で、紙やパッケージの知識など基本となることを学び、オリジナル紙製品会議にも参加してもらいました。また、協力会社さんへ同行し名刺交換、来客へのお茶の出し方など社会人としての基礎も学んでもらい、製造部（トムソン課・仕上げ課・サックマシン課）では、実際の作業の体験を行ってもらいました。

受け入れというと、「教える・伝える」がメインとなりますが、斬新な発想やアイデアなど、インターンシップ生から学ぶことも多く、また、受け入れを担当する社員の学びや成長にも繋がるので、今後も続けて行きたい取り組みのひとつです。



中学生職業体験は、4年ぶりの受け入れでした。

新入社員研修の受け入れなどで対社会人に対しての説明は慣れている社員ですが、相手が中学生となると、言葉選びなど難しかったと思います。体験に来てくれた中学生2人から、「おもしろかった、楽しかった」という感想を直接聞くことができ、担当した社員も一安心と共に、次回はもっと良い説明ができるようにしましょう！という気持ちが芽生えていて、いい経験だなあと改めて感じました。

まだまだ「仕事」「働く」ということのイメージは薄いと思いますが、働くということ、また製造業やものづくりについて少しでも知って興味を持ってもらえたらいいな…と思います。

わが社の取り組み



委員会活動

社員全員がどこかの委員会に所属し、通常業務以外の変革を推進しています。
委員会活動のおかげで、部署や課に関係なくコミュニケーションを取ることができています。
2021年からレクリエーション委員会はなくなり、その他の委員会でレクリエーションを担当します。

広報委員会

会社行事での写真撮影を担当し、社員同士のコミュニケーションがより深まるような社内広報誌を定期的に発行する委員会。

2021年からは、他社の取り組み紹介や、SDGsについての情報などを取り入れ、社外の情報を社内に広め、社員の知識向上を狙っています。
2023年から社内報を紙媒体からデジタル発信にしペーパーレス化を実現しました。



one UP委員会

全社員が共に育つ意識で成長できる『共育』を目的とし、社員の成長に繋がる取り組みを推進する委員会。全体朝礼の司会進行や、毎月テーマを決めて投票する月間MVPなどの活動をしています。

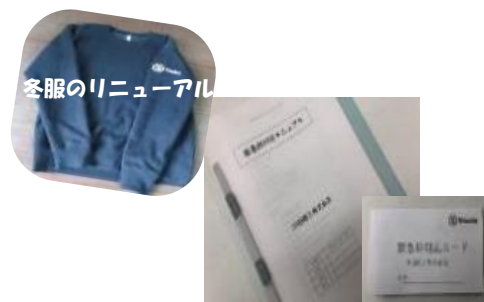
社長が行っていた新入社員の社内研修を、2021年からはone UP委員会が担当し、業界や紙、パッケージなどについて、新入社員に研修を行っています。



ひまわり委員会

考働指針の『365日笑顔！』の実現に向けて“自分たちが働く環境”を“自分たちの手で快適に”を目的とし、取り組みを推進する委員会。

エコアクション21やBCP、避難訓練の実施、作業服のリニューアルなどさまざまな取り組みを行っています。



レクリエーション



7月 BBQ



11月 社内イベント



3月 ボーリング大会

各委員会が企画/運営を行う、レクリエーション。今年は、BBQ・社内イベント・ボーリング大会を実施しました。
BBQでは、4年ぶりに社員の家族も参加OKとなり、子どもたちと一緒に楽しい時間を過ごしました。
社内イベントは、社内食堂にてみんなでアヒージョを作りながらイントロドン！などをして楽しみました。
ボーリング大会では、来期から入社する新入社員にも毎年参加してもらっています。
普段見ることのない、仲間の一面に出会い、楽しいひと時を過ごすことができました。

わが社の取り組み



全体会議

弊社では、毎月1回、出勤日の土曜日の15時から16時半まで全社員で全体会議を行っています。
川田紙工の強み/弱みやSWOT分析など、さまざまな討論テーマで意見を出し合い会議を行っています。

全体会議の一番の目的は、
「コミュニケーション力UPと気付きの向上」で正解・不正解はなく、自分の考えや意見を発表しています。

また、普段関わる事が少ない社員間においても「この人はこういう考えを持った人なんだ。」と
仲間を知り、仲間の考えを受け入れ、お互いに尊重し合える環境を作っています。
さらに、グループ長や発表者は、その場で立候補をして決めるため、意見をまとめることや発表することが
苦手な社員にとっても、練習する場となり、自己の成長や仲間の成長を感じることができます。



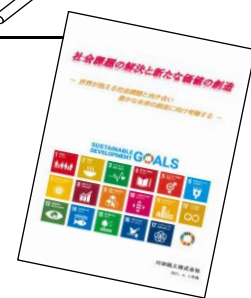
わが社のSDGsについて考えよう！



2021年7月の全体会議でSDGsの勉強会を実施しました。

SDGsとは？や、SDGsに取り組む背景や必要性など、SDGsについての基礎知識を学び
さらに、SDGsの活用によって広がる可能性や中小企業だからこそその強みを活かした独自性
のある展開など少し発展した内容を社員全員で学びました。

最後には、「わが社のSDGs 再発見」として、「川田紙工の現在の取り組みとSDGsの紐づけ」、
「今後の取り組みとSDGsの紐づけ」をワークシートを用いてグループで話し合い、意見を出し合いました。



私たちにできる社会課題の解決は？



2022年11月の全体会議では、
「私たちにできる社会課題の解決は？」をテーマに全体会議を行いました。

事前に、経営理念についてまとめたものとエコアクションの環境経営レポートを回覧し
情報を共有してから討論を始めました。

普段仕事をしている中では、なかなかSDGsや環境について考えることは少ないですが、全体会議な
どを通して、環境経営についての知識を得て、会社全体で成長していければと思います。



事業を継続させるために何が必要か。



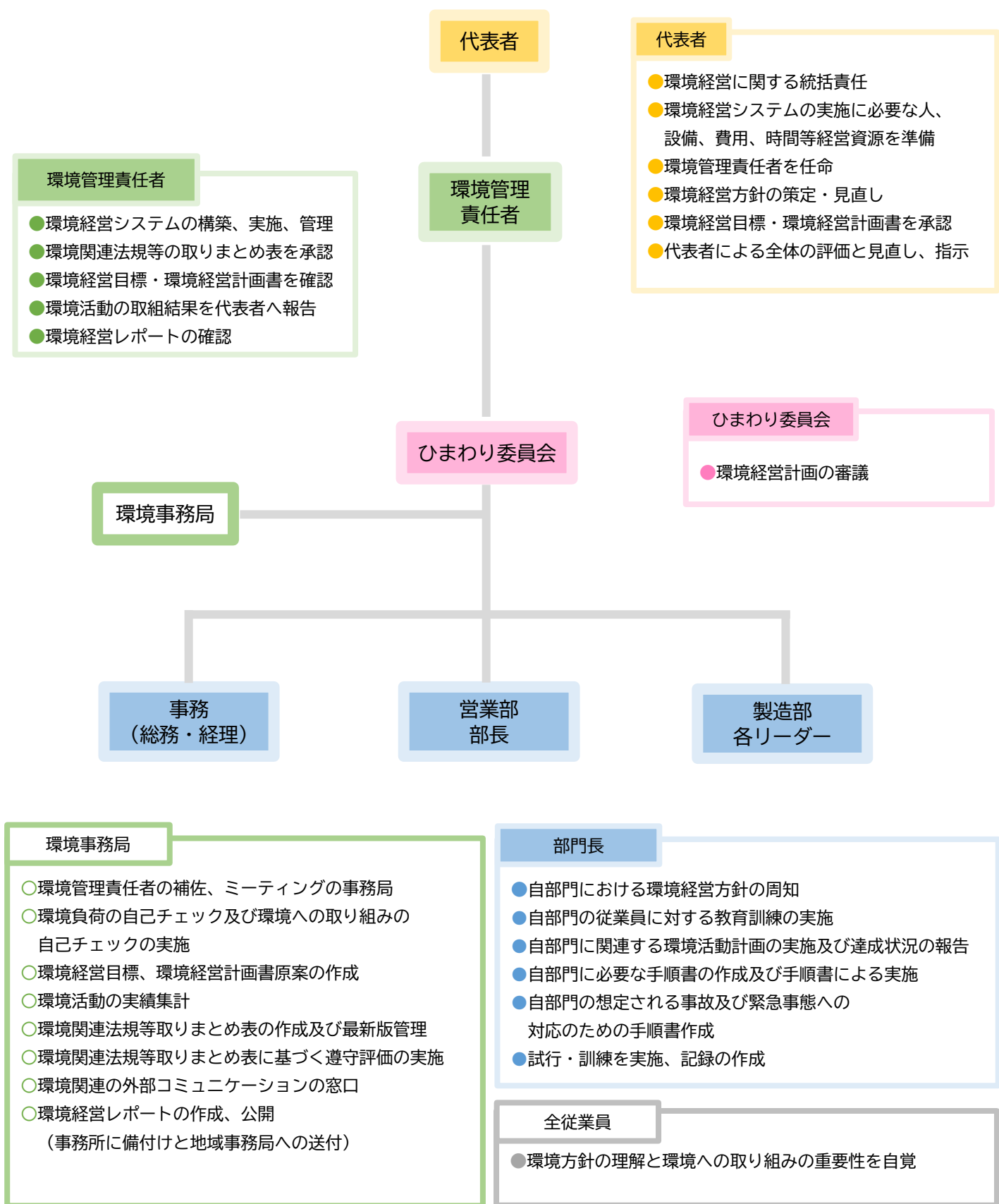
2023年8月の全体会議では、ひまわり委員会が担当し
「事業を継続させるために何が必要か。SDGsを添えて」をテーマに全体会議を行いました。

自分たちに身近な品質管理や納期管理などもSDGsと繋がっていることを
理解してもらうことを目的として実施しました。
また、議題を身近なものにし、意見が出やすいよう工夫し、全員で討論しました。

自分たちの事業の環境負荷を認識し、SDGsの観点からもより良いを追求していきます。



環境経営組織図 及び 役割・責任・権限表



主な環境負荷実績

項目	単位	2021年	2022年	2023年
二酸化炭素総排出量	kg-CO2	62,737	57,950	52,323
廃棄物排出量	kg	43,595	43,294	38,389
一般廃棄物排出量	kg	1,865	1,214	1,009
産業廃棄物排出量	kg	41,730	42,080	37,380
水道水使用量	m ³	836	820	856

※二酸化炭素排出係数 0.350 kg-CO2/kWh（関西電力 2021年度）

※産業廃棄物は紙屑であり、再生加工許可工場に再生資源として売却しているものは含まない

環境経営目標及びその実績

年度		基準値	2023年		2024年
項目		(基準年)	(目標)	(実績)	(目標)
 電力によるCO2削減	kg-CO2	49,990	49,490	44,571	49,490
	基準年度比	2022年	99%	89%	99%
売上高原単位	kWh/	2,396	2,396	2,063	—
 自動車燃料によるCO2削減	kg-CO2	6,098	6,037	5,886	6,037
	基準年度比	2022年	99%	97%	99%
上記 CO2排出量合計	kg-CO2	56,088	55,527	50,457	55,527
 一般廃棄物の削減	kg	1,214	1,201	1,009	1,153
	基準年度比	2022年	99%	83%	95%
 古紙の削減	kg	389,580	385,684	334,490	370,101
	基準年度比	2022年	99%	86%	95%
 水道水の削減	m ³	820	812	856	804
	基準年度比	2022年	99%	104%	98%
化学物質の適正管理	少量のため、活動目標				
環境に配慮した物品調達	備品、家電、車両など環境に配慮した購入活動				
予備紙の削減・環境に配慮した製品への取り組み	行動目標(次項による)				
自社ブランドの創造とニーズに対する商品の提案	経営の課題とチャンスによる活動				

＊都市ガスは二酸化炭素排出量の2％程度であるため削減目標は設定しない。

環境経営計画の取組結果とその評価



電力による二酸化炭素削減



数値目標

49,490 kg-CO₂



実績

44,571 kg-CO₂

評価



売上高原単位目標

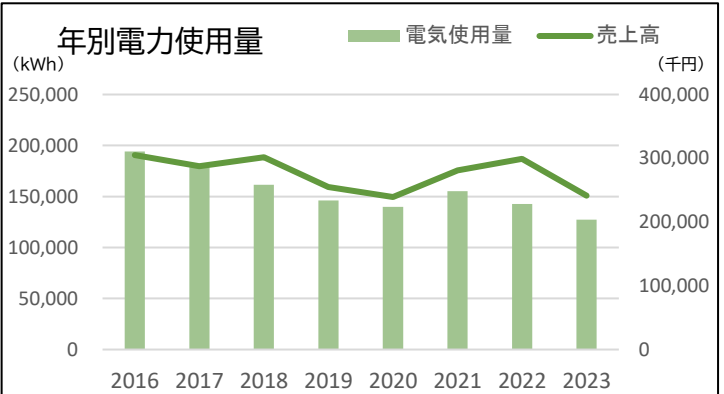
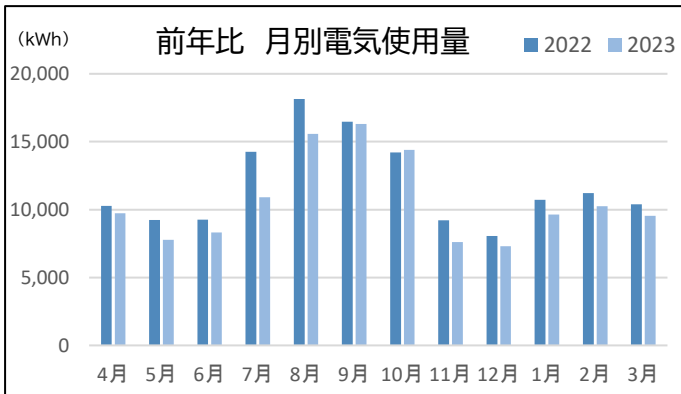
2,044 kg-CO₂



実績

2,363 kg-CO₂

評価



二酸化炭素削減 評価

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
月次評価	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○
累計評価	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

売上高原単位 評価

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
月次評価	×	×	○	○	×	×	×	×	○	×	×	×
累計評価	×	×	×	○	×	×	×	×	×	×	×	×



社内の照明スイッチに「こまめに スイッチオフ!」とSDGsのロゴマークを掲示し、節電を呼びかけています。

事務所の扉の内側に「消し忘れありませんか?」ポスターを掲示し、退社前の確認を行っています。



電気使用量をオンデマンドで管理しています。また、エアコンに設定温度を掲示しています。

取組結果とその評価、次年度の取組内容

前年対比99%を目標とし取り組んだ結果、前年対比89%となり目標を達成することができました。しかし、売上高原単位評価では、未達成が目立ち、売上(機械稼働)が落ちているため、電力使用も落ちたのだと考えられます。

今後は、品質と作業効率を向上させ、電力使用量の削減に努めてまいります。

取組計画	
・空調温度の適正化(冷房26℃ 暖房23℃)	△
・不要照明の消灯	○
・作業予定表の作成と運用	○
・生産工程の待機時間短縮(材料待ち)	○
・機械メンテナンス表の作成・実施	○

環境経営計画の取組結果とその評価



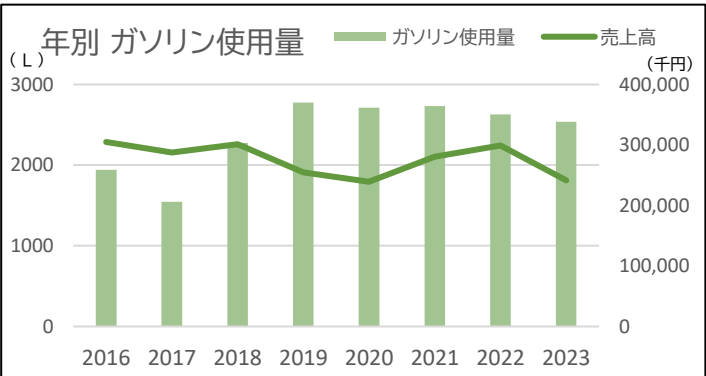
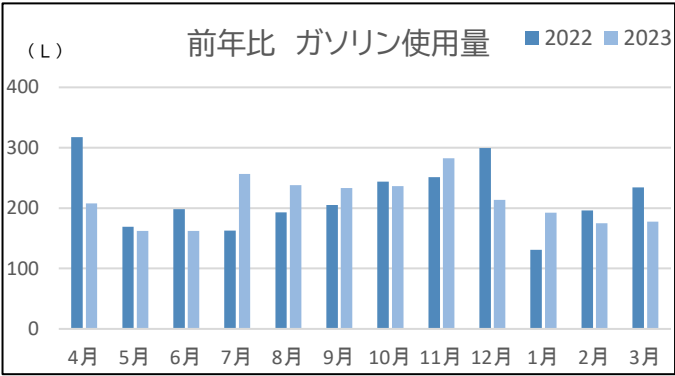
自動車燃料による二酸化炭素削減

数値目標
6,037 kg-CO₂

⇒

実績
5,886 kg-CO₂

評価



- ・2018年から営業車2→3台
- ・2021年から営業車1台ハイブリッド車



営業車の鍵置き場と営業車内に
「エコドライブ10のすすめ」を掲示し
エコドライブの意識の推進を行っています。



2021年度から営業車を1台ハイブリッド車に変えました。
ガソリン車より燃費の効率がよくなり、CO₂や廃棄ガスの量を
抑えることが可能になります。

取組計画	
・アイドリングストップ	○
・事故、クレームの低減	○

取組結果とその評価、次年度の取組内容

前年対比99%を目標とし取り組んだ結果、前年対比97%となり目標を達成することができました。

仕事案件などで、積極的に得意先へ出向いて打ち合わせを行っています。電話やデータで対応可能な場合は、できる限り電話やデータで対応している結果であると感じます。今後もハイブリッド車の活用やアイドリングストップの呼びかけを続けて行きます。

環境経営計画の取組結果とその評価



一般廃棄物の削減



数値目標

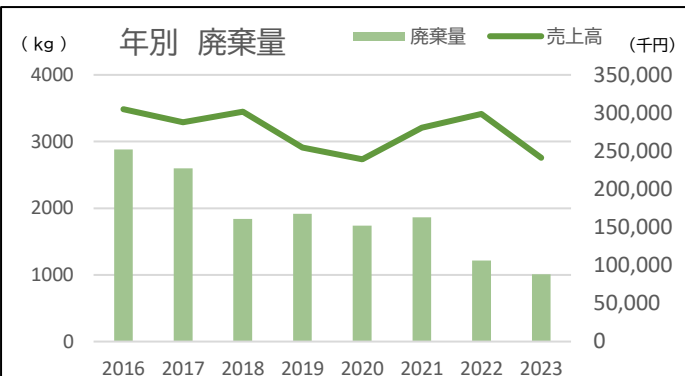
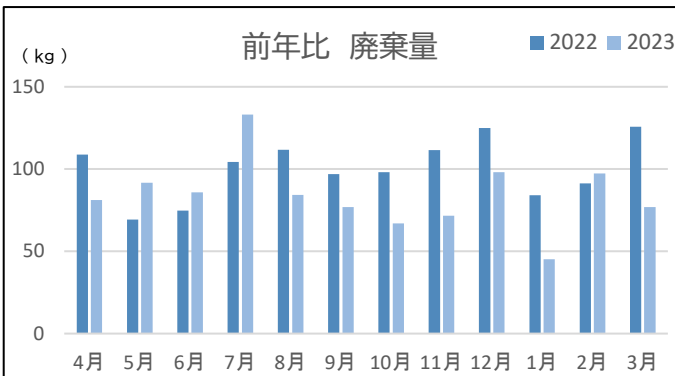
1,201 kg



実績

1,009 kg

評価



1階のエレベーター前にハカリを用意し
廃棄する前に重さを計り、記録するようにしました。
記録用紙には、SDGsの関連ロゴも入れて
廃棄物がSDGsと繋がっていることを周知しました。



私たちが日々、どれだけの量の廃棄物を排出しているかを
把握し、削減に努めることを目的としています。
・ゴミを廃棄する際に、種類別に重さを計って記録してください。



取組計画	
・分別の徹底	○
・シュレッダー廃紙のリサイクル化	○
・梱包材の再利用	○

取組結果とその評価、次年度の取組内容

前年対比99%目標に対し、83%と目標を達成。
前年度から廃棄物の重さを計るルールを継続実施し、
分別や廃棄物削減に対する意識向上をこれからも続け
て行きます。

環境経営計画の取組結果とその評価

古紙の削減



数値目標

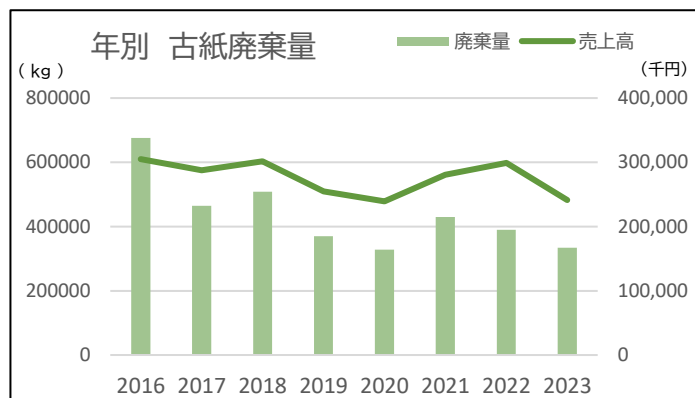
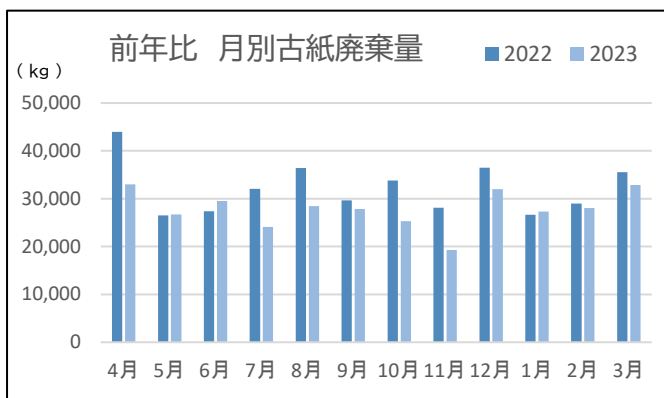
385,684 kg



実績

334,490 kg

評価



古紙削減 評価

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
月次評価	○	×	×	○	○	○	○	○	○	×	○	○
累計評価	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

売上高原単位評価

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
月次評価	○	×	×	○	×	×	○	×	○	×	×	○
累計評価	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×

【W チェック確認項目】

<トムソン>

- ・原稿通り見当が入っているか
- ・切刃はすべて切れているか(ステ刃も含め、すべての刃)
- ・折罫を180度折り込み、割れ / 裂けていないか
- ・キズ / 汚れ / シワ等はないか(裏表印刷は裏面も)

<サックマシン>

- ・原稿通りに貼れているか
- ・糊の接着は良好か(糊代、反対側の紙が破れているか)
- ・キズ / 汚れ / シワ / 色剥げ / 破れ 等はないか

事務所での作業前ダブルチェックを2017年から実施。
作業者の見落としや、作業ミスの確認を行っています。

取組計画

・作業ミスによる廃棄量の削減	△
・素材別ボックスの設置	○
・作業チェックシートの改良	○

取組結果とその評価、次年度の取組内容

前年対比99%を目標とし取り組んだ結果、前年対比86%となり目標を達成することができました。前年度から売上高原単位評価を追加しましたが、売上高原単位評価では、目標を達成することができませんでした。

今後も、不良の早期発見・品質向上に努め、古紙の廃棄量削減に力を入れていきます。

環境経営計画の取組結果とその評価

水道水の削減



数値目標

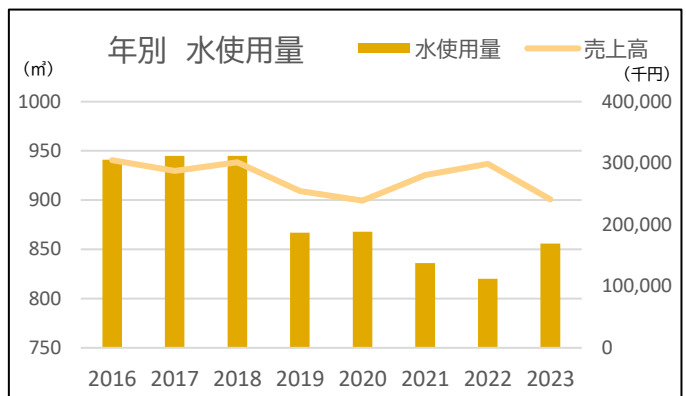
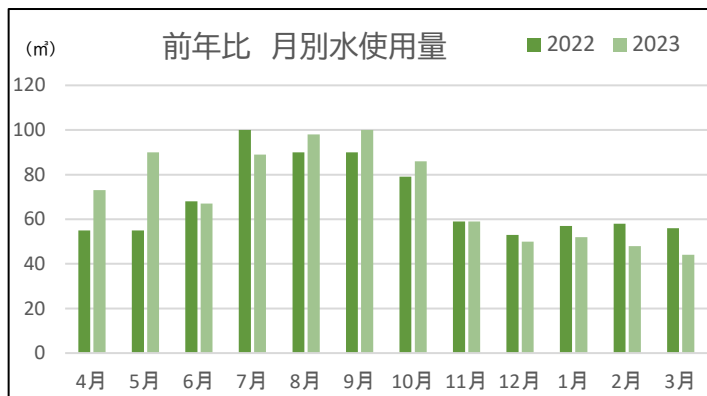
812 m³



実績

856 m³

評価



お節電
お昼休みは、
止めてください。

製造現場の水冷式エアコン全てに張り紙を掲示し
節電を呼びかけています。

製造現場は、水冷式エアコンであるため、エアコン使用時期は、水使用量が増加します。今後は、空冷式エアコンの導入も検討していきます。



取組計画	
・節水シールの貼り付けとポスター掲示	○
・節水の推進	○

取組結果とその評価、次年度の取組内容

前年対比99%を目標とし取り組んだ結果、前年対比106%となり目標を達成することができませんでした。
今後は水冷式エアコンから空冷式エアコンの導入も視野に入れ、節水に取り組んでいきます。

環境経営計画の取組結果とその評価



化学物質の適正管理

・容器の蓋の徹底	○
・代替物質の検討	△

取組結果とその評価、次年度の取組内容

少量のため、漏洩など問題はありませんでした。
今後も、化学物質の定位置管理、容器の蓋を閉めることを徹底していきます。



環境に配慮した物品調達



・二酸化炭素排出係数の少ない電力の検討	○
・省エネ性能の高い電気製品の購入	△
・燃費のよい自動車の採用	○
・事務用品のグリーン購入の推進	○

取組結果とその評価、次年度の取組内容

今年度は、設備交換等はありませんでしたが、これからも環境に配慮した物品調達を続けて行きます。



自社ブランドの創造とニーズに対応する商品の提案



・品質管理基準の作成、運用方法の検討と確立	△
・オリジナル紙製品無償配布による顧客ニーズ	○
・自社の展示会計画と出展	○
・お客様アンケートの実施と改善検討	○

取組結果とその評価、次年度の取組内容

SNS(HPブログ、Instagram)では、パッケージの知識や社内での取り組みなどを頻繁に更新しています。また、展示会出展を通して川田紙工(株)を知ってもらう活動を続けています。

環境関連法規制等の遵守状況の確認及び評価の結果 並びに違反、訴訟の有無

法的義務を受ける主な環境関連法規制は次の通りです。

適応される法規制	適用される事項(施設・物質・事業活動等)
廃棄物処理法	収集運搬業、中間処理業、産業廃棄物(廃プラ、廃ガラス、廃油等)
労働安全衛生法	SDS評価(シンナー、糊)
騒音規制法	空気圧縮機
振動規制法	空気圧縮機
消防法	消防設備(消火器、警報装置など)
フロン排出抑制法	業務用空調機
顧客要求事項	要求品質と納期の厳守

環境関連法規制等の遵守状況の評価の結果、環境関連法規制等は遵守されていました。
なお、違反、訴訟なども過去3年間ありませんでした。

外部からの環境上の苦情・要請等

2023年度はありませんでした。

緊急事態対応の試行・訓練

防災の勉強会

12月16日(土)に
防災の勉強会を行いました。

毎年、社内避難訓練を行っていますが
去年に引き続き今年も、
社内だけでなく、社外でも命を守るための行動に
ついて社員全員で勉強しました。

クイズ形式で、簡単な内容から
難しい内容までの計10問を出題し
全問正解者は、なんと0人！

これからも防災について
正しい知識を学び、防災力を高めて
有事に備えたいと思います。



代表者による全体の評価と見直し・指示

実施日：2024年6月27日

2023年度は、「主体者意識で考働しよう！」をテーマとして掲げ、「より良いものを、よりたくさんの人に！」を全社員の拘る目標として1年間活動しました。環境経営目標に対する実績としては、概ね目標値を達成することができ、満足のいく結果ではないかと思います。取り組みとしては、コロナ禍も一応の収束を迎えたこともあり、協力会社の方を招待しての「経営指針発表会の実施」や「インターンシップ生の受入れ」、「中学生の職業体験の受入れ」などを復活させることができ、全社員にとって、良い刺激をもらうことのできる機会となったのではないかと思います。

また、環境経営の観点から、8月の全体会議において、ひまわり委員会が中心となって「事業を継続させるためには何が必要か？」というテーマのもと全員で討論を実施し、私たちの仕事がSDGsとどのようにつながるのかを学ぶ機会を設けたり、以前より年に4回発行している広報誌を、LINE WORKSで発行することによってペーパーレス化にも取り組みました。これらのことから、環境経営に対する意識は浸透してきていると感じる一方、SDGsを見据えたものづくりの取り組みが進められていないと感じています。

今後は、SDGsを見据えたものづくりについて、その必要性をより深く考え、取り組みを進めていくことで、社会から必要とされる企業づくりに取り組んでいきたいと思っています。

環境経営方針	☒	変更なし	☐	変更あり
環境経営目標・計画	☒	変更なし	☐	変更あり
実施体制	☒	変更なし	☐	変更あり